

### Ⅲ. 研究班の活動記録

#### 1) 研究班会議

第一回班会議:平成19年 6月 4日

第二回班会議:平成19年12月27日

第三回班会議:平成20年 2月14日

#### 2) 平成19年度広域医療搬送実動訓練反省検討会

平成19年10月 1日

#### 3) 新潟県中越沖地震 DMAT 活動検証会

第一回検証会 平成19年10月 1日

第二回検証会 平成20年 1月29日

#### 3) DMAT連絡会議

平成20年 2月11日 (つくば)

## 研究班會議

「健康危機・大規模災害に対する初動期医療体制のあり方  
に関する研究」

第一回研究班会議

日時：平成19年6月4日(月) 午後2時～

場所：経済産業省別館10階 1020会議室

厚生労働科学研究費補助金健康危機管理・テロリズム対策システム研究事業

「健康危機管理・大規模災害に対する初動医療体制のあり方に関する研究」

主任研究者：独立行政法人国立病院機構災害医療センター 院長 辺見 弘

## 第一回班会議出席者名簿

日 時：平成19年6月4日(月) 14:00～16:30

会 場：経済産業省別館10階 1020会議室

### 【主任研究者】

独立行政法人国立病院機構災害医療センター 院長 辺見 弘

### 【分担研究者】

白鬚橋病院 院長	石原 哲
国立病院機構大阪医療センター 救命救急センター長	定光 大海
防衛医科大学校 防衛医学講座教授 1等空佐	山田 憲彦
兵庫県災害医療センター 副センター長	中山 伸一
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター	松本 尚
武蔵野赤十字病院 救命救急センター長	須崎紳一郎
福岡和白病院 ERセンター長	富岡 譲二
兵庫医科大学地域医療学 教授	吉永 和正
山形県立救命救急センター 診療部長	森野 一真
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター	布施 明
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター	近藤 久禎
藤沢市民病院 副救命救急センター長	阿南 英明
国立病院機構熊本医療センター 救命救急センター部長	高橋 毅
国立病院機構災害医療センター 副救命救急センター部長	井上 潤一

### 【欠席者】

富山大学大学院 危機管理医学 教授	奥寺 敬
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 講師	小井土雄一
東京医科歯科大学大学院 救急災害医学 教授	大友 康裕

### 【研究協力者等】

国立病院機構災害医療センター 救命救急センター部長	本間 正人
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務班長	楠 孝司
国立病院機構 災害医療センター 看護師長	高野 博子
国立病院機構 災害医療センター 看護師長	佐藤 和彦

### 【行政関係】

厚生労働省医政局指導課課長補佐 宮下 克己

厚生労働省医政局指導課救急医療専門官	田邊 晴山
内閣府政策統括官（防災担当）付災害応急対策担当参事官補佐	五十嵐祥二
東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課災害医療係長	岡本 昌弘

【オブザーバー】

防衛医科大学校 防衛医学講座 助手 2等海佐	庄野 聡
防衛医科大学校 防衛医学講座 准教授 2等陸佐	徳野 慎一
防衛医科大学校 防衛医学講座	武井英理子
防衛医科大学校 産婦人科	松田 秀雄
亀田総合病院	小原まみ子
防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター	神藤 猛
防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター	荒木 康弘
NTTデータ医療ネットワーク担当	

【事務局】

国立病院機構 災害医療センター 管理課長	國府田 聡
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務係長	加羽澤 誠
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務係	内藤 祐輝
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務係	竹中 三佳

厚生労働科学研究費補助金 健康管理・テロリズム対策システム研究事業  
「健康危機・大規模災害に対する初動期医療体制のあり方に関する研究」  
主任研究者 国立病院機構災害医療センター 院長 辺見 弘

## 第一回 班会議 次第

日時：平成19年6月4日(月)14:00～16:30

場所：経済産業省別館10階 1020会議室  
(東京都千代田区霞が関1-3-1)

1. 主任研究者挨拶
2. 厚生労働省医政局指導課挨拶
3. 平成19年度広域医療搬送実動訓練について（内閣府防災担当）
4. 討議
  - 1) 平成19年度研究計画について（国立病院機構災害医療センター 本間正人）
  - 2) 災害医療の課題と対応方針（厚生労働省医政局指導課 田邊晴山）
  - 3) 分担研究課題の概要と研究計画
    - ・ 災害初動期における医師会との連携  
分担研究者 白鬚橋病院 石原 哲
    - ・ 災害時医療継続マニュアルの作成  
分担研究者 富山大学大学院 奥寺 敬
    - ・ 災害拠点病院・災害従事者の研修・訓練のあり方  
分担研究者 国立病院機構大阪医療センター 定光大海
    - ・ DMAT 運用の迅速性・融通性強化戦略  
分担研究者 防衛医科大学校 山田憲彦
    - ・ 災害時における情報共有とコマンド体制確立のための情報システムのあり方  
分担研究者 兵庫県災害医療センター 中山 伸一
    - ・ 災害拠点病院評価手法の検討  
分担研究者 日本医科大学 小井土雄一
    - ・ 東南海・南海、首都直下における広域医療搬送についての検討  
分担研究者 東京医科歯科大学大学院 大友康裕
    - ・ 災害時におけるドクターヘリ・民間ヘリの活用  
分担研究者 日本医科大学千葉北総病院 松本 尚

- ・ 民間航空機・民間空港の活用と諸問題  
 分担研究者 武蔵野赤十字病院 須崎紳一郎
- ・ 病院の脆弱性の改善  
 分担研究者 福岡和白病院 富岡譲二
- ・ 災害時における精神支援、多数死体事案対応  
 分担研究者 兵庫医科大学 吉永和正
- ・ 地方における DMAT の活用に関する検討、統括 DMAT の具体的運用のあり方  
 分担研究者 山形県立中央病院 森野一真
- ・ 都市型災害の諸問題  
 分担研究者 日本医科大学 布施 明
- ・ 災害時におけるロジスティクスの諸問題  
 分担研究者 日本医科大学 近藤久禎
- ・ 日本 DMAT 隊員養成研修会のあり方に関する研究  
 (プログラム改訂、受講資格に関する検討)  
 分担研究者 藤沢市民病院 阿南英明
- ・ 国立病院機構における初動対応  
 分担研究者 国立病院機構熊本医療センター 高橋 毅

5) その他

「健康危機・大規模災害に対する初動期医療体制のあり方  
に関する研究」

第二回研究班会議

日時：平成19年12月27日(木) 午前10時～

場所：経済産業省別館10階 1014会議室

厚生労働科学研究費補助金健康危機管理・テロリズム対策システム研究事業

「健康危機管理・大規模災害に対する初動医療体制のあり方に関する研究」

主任研究者:独立行政法人国立病院機構災害医療センター 院長 辺見 弘

## 第二回班会議出席者名簿

日時 : 平成19年12月27日(木) 10:00~17:00

会場 : 経済産業省別館10階 1014会議室

### 【主任研究者】

独立行政法人国立病院機構災害医療センター 院長 辺見 弘

### 【分担研究者】

白鬚橋病院 院長	石原 哲
国立病院機構大阪医療センター 救命救急センター長	定光 大海
防衛医科大学校 防衛医学講座教授 1等空佐	山田 憲彦
兵庫県災害医療センター 副センター長	中山 伸一
川口市立医療センター 救命救急センター部長	小井土雄一
東京医科歯科大学大学院 救急災害医学 教授	大友 康裕
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター	松本 尚
武蔵野赤十字病院 救命救急センター長	須崎紳一郎
福岡和白病院 ERセンター長	富岡 譲二
兵庫医科大学地域医療学 教授	吉永 和正
山形県立救命救急センター 診療部長	森野 一真
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター	近藤 久禎
藤沢市民病院 副救命救急センター長	阿南 英明
国立病院機構災害医療センター 副救命救急センター部長	井上 潤一

### 【欠席者】

富山大学大学院 危機管理医学 教授	奥寺 敬
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター	布施 明
国立病院機構熊本医療センター 救命救急センター部長	高橋 毅

### 【研究協力者等】

国立病院機構災害医療センター 救命救急センター部長	本間 正人
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務班長	楠 孝司
防衛医科大学校 防衛医学講座 助手 2等海佐	庄野 聡

### 【行政関係】

国立保健医療科学院公衆衛生政策部地域保健システム室長	武村 真治
厚生労働省大臣官房厚生科学課健康危機管理対策室長	浅沼 一成

厚生労働省大臣官房厚生科学課健康危機管理対策室主査	牧野 友彦
厚生労働省医政局指導課課長補佐	宮下 克己
厚生労働省医政局指導課救急医療専門官	田邊 晴山
厚生労働省健康局地域保健室・保健指導室専門官	坂本 友紀
内閣府政策統括官（防災担当）付災害応急対策担当参事官付	川部 浩史
内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）付参事官補佐	近藤 修
内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）付参事官補佐	滝沢 隆雄
東京都福祉保健局医療政策部副参事	永井 秀明
東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課長	室井 豊
東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課災害医療係長	岡本 昌弘
東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課災害医療担当係長	櫻井 孝司
神奈川県医療政策部保健福祉総務課健康危機管理班主幹	石神 猛
静岡県厚生部医療保健局医療室主幹	尾上 景子
静岡県厚生部医療保健局医療室主査	田代 聖紫

【オブザーバー】

愛媛県立中央病院救急診療部	森實 岳史
N T Tデータ医療ネットワーク担当	

【事務局】

国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務係長	加羽澤 誠
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務係	内藤 祐輝
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務係	竹中 三佳

厚生労働科学研究費補助金 健康管理・テロリズム対策システム研究事業  
「健康危機・大規模災害に対する初動期医療体制のあり方に関する研究」  
主任研究者 国立病院機構災害医療センター 院長 辺見 弘

## 第二回 班会議 次第

日時：平成19年12月27日(木)10:00～17:00

場所：経済産業省別館10階 1014会議室

(東京都千代田区霞が関1-3-1)

1. 厚生労働省挨拶 大臣官房厚生科学課健康危機管理対策室長 浅沼一成  
医政局指導課課長補佐 宮下克己
2. 国立保健医療科学院挨拶 公衆衛生政策部地域保健システム室長 武村真治
3. 主任研究者挨拶 国立病院機構災害医療センター院長 辺見 弘
4. 討議

1) 辺見研究班における研究の概要

国立病院機構災害医療センター 本間正人

2) 分担研究課題の研究成果の報告(予定を含む)

**10:30～12:00 予定**

① DMAT 運用の迅速性・融通性強化戦略

分担研究者 防衛医科大学校 山田憲彦

② 災害初動期における医師会との連携

分担研究者 白鬚橋病院 石原 哲

③ 災害拠点病院評価手法の検討

分担研究者 川口市立医療センター 小井土雄一

④ 病院の脆弱性の改善

分担研究者 福岡和白病院 富岡譲二

⑤ 災害拠点病院・災害従事者の研修・訓練のあり方

分担研究者 国立病院機構大阪医療センター 定光大海

**13:00～15:00 予定**

⑥ 災害時医療継続マニュアルの作成

分担研究者 富山大学大学院 奥寺 敬

- ⑦ 国立病院機構における初動対応  
分担研究者 国立病院機構熊本医療センター 高橋 毅
- ⑧ 災害時における精神支援、多数死体事案対応  
分担研究者 兵庫医科大学 吉永和正
- ⑨ 災害時における情報共有とコマンド体制確立のための情報システムのあり方  
分担研究者 兵庫県災害医療センター 中山伸一
- ⑩ 東南海・南海、首都直下における広域医療搬送についての検討  
分担研究者 東京医科歯科大学大学院 大友康裕
- ⑪ 日本 DMAT 隊員養成研修会のあり方に関する研究  
(プログラム改訂、受講資格に関する検討)  
分担研究者 藤沢市民病院 阿南英明

**15:00～17:00 予定**

- ⑫ 民間航空機・民間空港の活用と諸問題  
分担研究者 武蔵野赤十字病院 須崎紳一郎
- ⑬ 災害時におけるドクターヘリ・民間ヘリの活用  
分担研究者 日本医科大学千葉北総病院 松本 尚
- ⑭ 統括 DMAT の具体的運用のあり方、地方における DMAT の活用に関する検討  
分担研究者 山形県立中央病院 森野一真
- ⑮ 災害時におけるロジスティクスの諸問題  
分担研究者 日本医科大学 近藤久禎
- ⑯ 災害時における特殊病態  
分担研究者 国立病院機構災害医療センター 井上潤一
- ⑰ 都市型災害の諸問題  
分担研究者 日本医科大学 布施 明

5) 平成20年度研究計画について

6) その他

「健康危機・大規模災害に対する初動期医療体制のあり方  
に関する研究」

第三回研究班会議

日時：平成20年2月14日(木) 午後2時～

場所：東京ガーデンパレス 羽衣の間

厚生労働科学研究費補助金健康危機管理・テロリズム対策システム研究事業

「健康危機管理・大規模災害に対する初動医療体制のあり方に関する研究」

主任研究者: 独立行政法人国立病院機構災害医療センター 院長 辺見 弘

### 第三回班会議出席者名簿

日時 : 平成20年2月14日(木) 14:00~17:00

会場 : 東京ガーデンパレス 羽衣の間

#### 【主任研究者】

独立行政法人国立病院機構災害医療センター 院長 辺見 弘

#### 【分担研究者】

白鬚橋病院 院長	石原 哲
国立病院機構大阪医療センター 救命救急センター長	定光 大海
兵庫県災害医療センター 副センター長	中山 伸一
川口市立医療センター 救命救急センター部長	小井土雄一
東京医科歯科大学大学院 救急災害医学 教授	大友 康裕
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター	松本 尚
兵庫医科大学地域医療学 教授	吉永 和正
山形県立救命救急センター 診療部長	森野 一真
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター	布施 明
藤沢市民病院 副救命救急センター長	阿南 英明
国立病院機構熊本医療センター 救命救急センター部長	高橋 毅
国立病院機構災害医療センター 副救命救急センター部長	井上 潤一

#### 【欠席者】

富山大学大学院 危機管理医学 教授	奥寺 敬
防衛医科大学校 防衛医学講座教授 1等空佐	山田 憲彦
福岡和白病院 ERセンター長	富岡 譲二
武蔵野赤十字病院 救命救急センター長	須崎紳一郎
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター	近藤 久禎

#### 【研究協力者等】

国立病院機構災害医療センター 救命救急センター部長	本間 正人
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務班長	楠 孝司
防衛医科大学校 防衛医学講座 助手 2等海佐	庄野 聡

#### 【行政関係】

厚生労働省医政局指導課課長補佐	宮下 克己
厚生労働省医政局指導課救急医療専門官	田邊 晴山

厚生労働省健康局地域保健室・保健指導室	前田 光哉
東京都福祉保健局医療政策部副参事	永井 秀明
東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課災害医療係長	岡本 昌弘
東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課災害医療担当係長	櫻井 孝司
神奈川県医療政策部保健福祉総務課健康危機管理班主幹	石神 猛
神奈川県医療政策部保健福祉総務課健康危機管理班副主幹	平山 顕雄

【オブザーバー】

NTTデータ医療ネットワーク担当

【事務局】

国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務係長	加羽澤 誠
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務係	内藤 祐輝
国立病院機構 災害医療センター 管理課庶務係	竹中 三佳

厚生労働科学研究費補助金 健康管理・テロリズム対策システム研究事業  
「健康危機・大規模災害に対する初動期医療体制のあり方に関する研究」  
主任研究者 国立病院機構災害医療センター 院長 辺見 弘

### 第三回 班会議 次第

日時：平成20年2月14日(木)14:00～17:00

場所：東京ガーデンパレス 羽衣の間  
(東京都文京区湯島 1-7-5)

1. 厚生労働省挨拶 医政局指導課課長補佐 宮下克己
2. 主任研究者挨拶 国立病院機構災害医療センター院長 辺見 弘
3. 討議
  - 1) 新潟県中越沖地震 DMAT 活動検証会報告  
国立病院機構災害医療センター 本間正人
  - 2) 分担研究課題の研究成果の報告(予定を含む)
    - ① 災害初動期における医師会との連携  
分担研究者 白鬚橋病院 石原 哲
    - ② 災害時医療継続マニュアルの作成  
分担研究者 富山大学大学院 奥寺 敬
    - ③ DMAT 運用の迅速性・融通性強化戦略  
分担研究者 防衛医科大学校 山田憲彦(欠)  
(代理) 庄野 聡
    - ④ 災害拠点病院・災害従事者の研修・訓練のあり方  
分担研究者 国立病院機構大阪医療センター 定光大海
    - ⑤ 災害時における情報共有とコマンド体制確立のための情報システムのあり方  
分担研究者 兵庫県災害医療センター 中山伸一
    - ⑥ 災害拠点病院評価手法の検討  
分担研究者 川口市立医療センター 小井土雄一
    - ⑦ 東南海・南海、首都直下における広域医療搬送についての検討  
分担研究者 東京医科歯科大学大学院 大友康裕
    - ⑧ 災害時におけるドクターヘリ・民間ヘリの活用  
分担研究者 日本医科大学千葉北総病院 松本 尚

- ⑨ 民間航空機・民間空港の活用と諸問題  
分担研究者 武蔵野赤十字病院 須崎紳一郎 (欠)
- ⑩ 病院の脆弱性の改善  
分担研究者 福岡和白病院 富岡譲二 (欠)
- ⑪ 災害時における精神支援、多数死体事案対応  
分担研究者 兵庫医科大学 吉永和正
- ⑫ 統括 DMAT の具体的運用のあり方、地方における DMAT の活用に関する検討  
分担研究者 山形県立中央病院 森野一真
- ⑬ 都市型災害の諸問題  
分担研究者 日本医科大学 布施 明
- ⑭ 災害時におけるロジスティクスの諸問題  
分担研究者 日本医科大学 近藤久禎
- ⑮ 日本 DMAT 隊員養成研修会のあり方に関する研究  
(プログラム改訂、受講資格に関する検討)  
分担研究者 藤沢市民病院 阿南英明
- ⑯ 国立病院機構における初動対応  
分担研究者 国立病院機構熊本医療センター 高橋 毅
- ⑰ 災害時における特殊病態  
分担研究者 国立病院機構災害医療センター 井上潤一

3) 平成20年度研究計画について

4) その他

平成19年度内閣府・静岡県総合防災訓練

広域医療搬送実動訓練

関係資料

## 平成19年度広域医療搬送実動訓練

国立病院機構災害医療センターDMAT事務局

### 1. 訓練概要

静岡県内に設置された被災地内広域医療搬送拠点3カ所(愛鷹広域公園、静浜基地、浜松基地)へ近隣県からの陸路及び被災地外参集拠点から自衛隊航空機によるDMATの参集により、静岡県職員等と合同でSCUの運営を実施する。また、被災地外広域搬送拠点(広島西飛行場、入間基地、立川駐屯地、北宇都宮駐屯地)へのDMAT同乗による自衛隊航空機による患者搬送及び非被災地自治体及び消防との連携による、被災地外搬送拠点の運営及び災害拠点病院等への患者の搬送を実施する。

### 2. 今年度の訓練の特徴

- 1) 「東海地震応急対策活動要領に基づく具体的な活動内容に係る計画」で示された静岡県内に計画されている3カ所の被災地内広域搬送拠点を同時に運営
- 2) 被災地外広域搬送拠点から災害拠点病院等までの搬送に関する検証を実施

### 3. SCU関連参加者

訓練参加者(499名+域外拠点担当)

#### 【愛鷹広域公園 (154名)】

- ・ DMAT 13 (77名)(インストを含む)
- ・ AMDA・JVMT (20名)
- ・ 静岡県職員 (34名)
- ・ その他(域内搬送等) (23名)

#### 【静浜基地 (157名)】

- ・ DMAT 13 (76名)(インストを含む)
- ・ 静岡県職員 (63名)
- ・ その他(域内搬送等) (18名)

#### 【浜松基地 (188名)】

- ・ DMAT 14 (89名)(インストを含む)
- ・ 静岡県職員 (80名)
- ・ その他(域内搬送等) (19名)

#### 【域外拠点】

- ・ 広島西空港、北宇都宮駐屯地、入間基地、立川駐屯地
- ・ 自治体職員、DMAT、消防機関

#### 4. 今年度の検証事項

- 1) DMAT の参集訓練
- 2) 静岡県職員と連携したSCUの運営
- 3) 非被災地自治体及び消防機関と連携した被災地外搬送拠点の運営
- 4) 必要資機材の調達・確保
- 5) 搬送患者情報の伝達手段

#### 5. 訓練結果

##### 1) SCUの設置場所

計画に基づくSCUの設置場所は次の県内3カ所(東部、中部、西部)となっている。

##### ① 愛鷹広域公園

競技場スタンド下の長方形の部屋を12床のSCUとする計画である。ヘリ離発着場所となるグラウンドに隣接し、電気、証明、水道、トイレ、小部屋及び空調設備まであり、非常に利便性がある。広さは20床の設置が可能と思われる。

しかし、今般の訓練時は天候が雨天となり、雲の停滞によりヘリの飛行が不可能であった。この地域は、富士山・箱根山山系により上空に雲が停滞しヘリの運行が出来ないことが懸念される。

##### ② 航空自衛隊静浜基地及び航空自衛隊浜松基地

当初、静岡県の計画では、テント(4床×3=12床)により SCU を設営することとしていたが、C-1輸送機での重症患者4人→8人の搭載によるSCUの標準ベッド数20床としたこと及び平成18年度の広域医療搬送実動訓練で使用した航空自衛隊入間基地での消防車庫の実績から、静浜基地及び浜松基地においてもSCUを消防車庫に設営する検証を行った。

建物内でのSCUはテントと違い明らかに利便性があることは言うまでもないが、両基地の消防車庫においても、電気、水道、通信機器等の活用が容易にできることが検証された。しかしながら、本部(被災県・DMAT)及びベッドの配置にあたっては、車庫内の仕切壁が障害となるため、配置について留意する必要がある。

##### 2) DMAT の参集

参集にあたっては、訓練参加の DMAT は参集拠点近隣県からの事前登録による参加であるが、各 DMAT が EMIS により参集情報の入力を行い参集した。

広島西飛行場が参集場所となったが、広島 DMAT により事前調整が行われ、空港での参集場所の確保、入場、車両入場等の調整が円滑に行えた。

広島西飛行場は、規模の小さい空港であったが、今後、計画されている羽田空港、伊丹空